

第2回 路面電車乗り入れを含めた岡山駅前広場のあり方検討会

平成28年12月22日(木) 10:00~

商工会議所 1階 大会議室

■質疑の要旨 (1/2)

組織名	質問・意見	事務局回答
福武理事 駅前商店街振興 組合	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り入れると、駅から商店街へ直線経路で行けなくなる、見通しが悪くなることから、歩行者動線の確保ができていないことになっているのはおかしい。資料の見直しを求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を変える方向で検討する。
磯野専務 岡山電気軌道	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り入れると、商店街への歩行距離がどれくらい延びるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・距離は7.7m、所要時間は7秒増加となる。
政森専務理事 バス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験の実施を要望している。資料に実証実験の実施に関する記述を入れてほしい。 ・実証実験の実施方法について、会議体を設け、検討してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り入れを想定した実証実験については、駅前交差点をどう改良するかについての整理が先に必要と考えており、現在は具体的に検討する段階ではない。 実験を否定しているものではない。
若林委員長 商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・バス協会の主張は、実際のところかわからないということが原因であり、市民の方も含め広く理解をいただくためにも実験をして、混雑したら対処方法を考えればいい。 	
井上連長 出石地区	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り入れのない駅前広場のあり方を検討する場を設けてほしい。地元からの宿題については、はっきりと回答してほしい。 ・根強い反対があることは、念頭に置いてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本検討会とは別に、連合町内会の要望事項については対応する。 ・説明会等を実施していく。
宮本会長 障害者団体連合 会	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者への配慮も忘れないでほしい。現在の地上経路は、実際のところ、車いすでは行くことができない。 乗り入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすでも安全にスムーズに移動できるように考えていきたい。
渡邊連長 三軒学区	<ul style="list-style-type: none"> ・三軒学区としては、乗り入れに大いに期待している。 早期の実現を期待している。 	(なし)

第2回 路面電車乗り入れを含めた岡山駅前広場のあり方検討会

平成28年12月22日(木) 10:00~

商工会議所 1階 大会議室

■質疑の要旨 (2/2)

組織名	質問・意見	事務局回答
橋本准教授 岡山大学	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の前段として、まずは広範囲の交通シミュレーションをしてみて、何が起こり得るのか検証してみてもどうか。 ・乗り入れると、電車が視線誘導となり人が自然に集まったり、電車利用者も商店街が見えるようになること等から、商店街にとってはプラスのほうが大きい。 ・商店街までの経路がちょっと長くなったことで人が行かなくなるのであれば、商店街に問題がある。 ・商店街も一緒に広場内の空間の利用を考えたほうがいい。 ・資料の内容は、交通の視点ばかりで、新しくできるシンボルゾーンをどうするかの見点に乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、シミュレーションを進めているところである。 ・シンボルゾーンの活用については、次の話と考えていた。 ・学生の意見でも、待合せの場所が必要との意見があった。 ・東西連絡通路を降りたところのスペースはイベント等に利用し、電停と横断歩道間のスペースが待合いスペースになれば、街に出ていくイメージが広がると考えている。
加藤課長 JR西日本	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎ゾーンの縮小案もあるが、必要な機能は確保してほしい。 ・送迎ゾーンを縮小するのではなく、軌道の線形の変更で歩行スペースを確保している第1案がよいと考えている。 	(なし)
水野管制官 岡山県警察	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前交差点を2編成連なって通過することはできないと思うので、ピーク時の運行本数の確保について懸念がある。 ・安全面から、車両と歩行者の分離が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・等間隔で電車が来るとは限らないので、信号に考慮した時刻表の調整をしていきたい。
梶川会長 タクシー協会	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーと送迎ゾーンを入れ替えることの是非について、即答はできない。 ・タクシーと一般車が通る車道を横切る歩行者動線の新設は危険である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー、送迎ゾーンについては、このままと入れ替えた案と両方で検討していく。 ・一旦停止の義務付けなど対策を考えていきたい。
赤木支局長 岡山運輸支局	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーと送迎ゾーンを入れ替えると、電停に近くなり便利。 	(なし)
福島企画部長 山陽SC開発	<ul style="list-style-type: none"> ・梁、柱の補強が必要となる。 ・柱が倍になるなど影響が大きいので、極力支障がでないようにしてほしい。 	(なし)